

『八王子駅南口とちの木デッキに江戸園芸ツツジの植樹を行いました！』

東京都都市づくり公社では、伝統的な古品種ツツジを身近な場所に植樹し、その素晴らしさを味わい楽しんでいただくなど、特色ある緑化による緑豊かなまちづくりに取り組んでいます。

平成 27 年度～平成 28 年度、八王子駅南口とちの木デッキ花壇に「藤万葉」「日の出霧島」「花車」(下記解説板 **赤枠** の種類)の植樹を行いました。

来年 4～5 月が、花の見頃となりますので、八王子駅周辺にお出かけの際には、是非お立ち寄りいただき、可憐な花をお楽しみ下さい。

解説板


江戸のツツジでまちづくり

ツツジは万葉集にも詠われた日本古来の植物です。江戸時代になり平和な時代を迎えると様々なツツジが江戸に集まり、元禄には大ブームとなりました。その中心地は駒込染井で、江戸随一の園芸家・伊藤伊兵衛三之丞は「まり嶋屋伊兵衛」と称し元禄 5 年(1692)、日本初のツツジ・サツキ図鑑「錦繡枕(きんしゅうまくら)」を発行しました。錦繡枕にはツツジが 170 あまり記載され元禄のツツジ園芸の高まりを物語ります。人々は争ってツツジを買い求めたと伝えられています。江戸園芸ツツジはその後西欧に伝えられ、アザレアとして日本に還流するなど、江戸から東京へ伝えられた財産として貴重なものですが今日では失われがちとなりました。当公社は八王子市と連携し、特色あるまちづくりの一助としてここに江戸園芸ツツジを植樹しました。その素晴らしさを味わい楽しんでいただければ幸いです。

江戸の人々に愛され、現代に伝えられた主なツツジ

江戸キリシマ系

錦繡枕で○○霧島というツツジは江戸キリシマと呼ばれています



本霧島 (ほんぎりしま)
 緋色一重、1656年に藤摩から大阪を経て染井の伊兵衛のもとに下された江戸霧島の名花。緋色二重のものは八重霧島(やえぎりしま)。



桜霧島 (さくらぎりしま)
 淡紅紫色一重咲き、緑の方がわずかに濃く、中心部は淡くぼかしくなり、花びらがわずかに尖る。



日の出霧島 (ひのでぎりしま)
 鮮紅紫色丸弁一重咲き、枝が横に密生し花付きも良く、花弁もやや厚く、花持ち良く優れた特性を持つ。

リュウキュウ系

モチツツジとキシツツジの交雑から生まれたとされる品種で性質は比較的強健で、様々な色と柄があります



藤万葉 (ふじまんよう)
 緋色、雄しべが花弁化し、にぎやかながら気品を感じさせ現代に伝えられた希少品種。



白琉球 (しろりゅうきゅう)
 性質は強健で庭園や公園、街路樹にたくさん利用されている。錦繡枕のツツジ五花の一つ。



白万葉 (しろまんよう)
 白色、雄しべが花弁化し、内側でリング状に見える希少品種。

モチツツジ系

がくは細長く尖り、腺毛があり強く粘るという特徴があります



花車 (はなぐるま)
 紅紫色一重・深咲き、花弁は長い紡錘形となり気品のある雰囲気を感じます。



西行 (さいぎょう)
 紫を帯びた淡紅色、花弁は先端がしゃもじ型にふくらむ大変珍しい花形。希少品種。

オオヤマツツジ系

関東に自生のオオヤマツツジの品種でヤマツツジに比べ花、がく、葉が大きいという特徴があります



飛鳥川 (あすかがわ)
 紅紫色花、絞り花、覆輪花などが 1 本の木に賑やかに咲く。花は大きくあでやか。

■ お問い合わせ先 ■ 公益財団法人 東京都都市づくり公社事業推進部公益事業課 ☎ 042-686-1910 (2016年12月)



想像から創造へ、まちづくりのパートナー <http://www.toshizukuri.or.jp/>



公益財団法人 東京都都市づくり公社

Tokyo Urban Planning and Development Corporation

〒192-0904 八王子市市安町 4-7-1 サザンスカイトワー八王子 7 階
 事業推進部公益事業課緑化担当 TEL042-686-1910